

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：歯周病 P. 21

はき 25-62 歯周病の増悪因子でないのはどれか

1. 喫煙
2. 舌炎
3. 妊娠
4. 糖尿病

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：顎関節症 P. 22

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：その他の口腔疾患 P. 23

【う歯/アフタ性口内炎/舌炎/口角炎】

はき 28-61 血液疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 ——— 末梢神経障害
2. 悪性リンパ腫 ——— 舌炎
3. 急性白血病 ——— 出血傾向
4. 再生不良性貧血 ——— リンパ節腫脹

はき 25-62 歯周病の増悪因子でないのはどれか

1. 喫煙
2. 舌炎
3. 妊娠
4. 糖尿病

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う歯 ——— 悪性貧血
2. アフタ性口内炎 ——— 潰瘍性大腸炎
3. 舌炎 ——— くる病
4. 口角炎 ——— ビタミンA欠乏症

はき 21-65 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 再生不良性貧血 ——— ハンター舌炎
2. 悪性リンパ腫 ——— レイノー現象
3. 皮膚筋炎 ——— 陰部潰瘍
4. ベーチェット病 ——— 口腔内アフタ性潰瘍

はき 20-72 鉄欠乏性貧血について正しい記述はどれか。

1. 男性に多くみられる。

2. ハンター舌炎がみられる。
3. フェリチンが減少する。
4. 総鉄結合能が減少する。

はき 28-72 食道癌について正しいのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 若年者に多い。
3. 女性に多い。
4. アルコールは危険因子である。

はき 26-69 ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 肝臓癌

はき 23-79 「70 歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本疾患について適切なのはどれか。

1. 腺癌が多い。
2. 中部食道に多い。
3. 化学療法は用いられない。
4. 予後は良い。

はき 23-80 「70 歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。

1. 上大静脈症候群
2. 反回神経麻痺
3. 顔面神経麻痺
4. ホルネル症候群

はき 16-63 食道癌でみられないのはどれか。

1. 嗄 声
2. 嚥下性肺炎
3. 脾 腫
4. 吐 血

はき 26-78 「40 歳の女性。数年前より手指のこわばりを自覚していた。最近、症状の増悪と手指の関節痛、腫脹が認められ来院した。冷たいものに触ると手指が白くなることがある。検査では抗トポイソメラーゼ I 抗体 (抗 Scl-70) が陽性であった。」

本疾患の合併症として最も多いのはどれか。

1. ブドウ膜炎
2. ネフローゼ症候群
3. 逆流性食道炎
4. シェーグレン症候群

はき 4-76 ダンピング症候群を起こす原因はどれか。

1. 胃切除
2. 過敏性腸症候群
3. 食道炎
4. 虫垂炎

【食道憩室/マロリー・ワイス症候群/食道静脈瘤】

はき 24-71 脱水を起こしやすいのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 大腸ポリープ
3. 胃下垂
4. 食道憩室

はき 24-80 「50 歳の男性。大酒家である。軽度の意識障害で受診した。眼球の黄染、胸部のクモ状血管拡張と著明な腹水がみられた。また、上肢の不規則な運動が認められた。」本疾患でよくみられる合併症はどれか。

1. 大動脈瘤
2. 食道静脈瘤
3. マロリー・ワイス症候群
4. 大腸憩室炎

はき 1-74 肝硬変で誤っているのはどれか。

1. 肝が肥大する。
2. 食道静脈瘤を生じる。
3. 手掌紅斑を生じる。
4. 腹水を生じる。

はき 32-59 ビタミン B1 欠乏でみられるのはどれか。

1. ペラグラ
2. 萎縮性胃炎
3. 巨赤芽球性貧血
4. 多発性末梢神経障害

はき 17-69 胃潰瘍について誤っている記述はどれか。

1. 女性より男性に多い。
2. 好発部位は胃の大弯である。
3. エックス線像でニッシュェがみられる。
4. ヘリコバクター・ピロリの感染と関係がある。

はき 3-84 重症熱傷でみられないのはどれか。

1. 低タンパク血症
2. 循環血漿量増加
3. 腎障害
4. 十二指腸潰瘍

はき 26-69 ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 肝臓癌

はき 20-65 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。

1. 大腸癌 ——— CEA
2. 子宮体癌 ——— SCC
3. 胃 癌 ——— CYFRA
4. 乳 癌 ——— AFP

【胃ポリープ/胃下垂/胃神経症/十二指腸憩室】

はき 27-63 先端巨大症の原因とならないのはどれか。

1. 腭頭部腫瘍
2. 胃ポリープ
3. 下垂体腺腫
4. 気管支カルチノイド

はき 24-71 脱水を起こしやすいのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 大腸ポリープ
3. 胃下垂
4. 食道憩室

はき 33-59 炎症性腸疾患について正しいのはどれか。

1. クローン病は大腸に限局する。
2. 潰瘍性大腸炎は非連続性病変を示す。
3. 食生活の欧米化により患者数が増加した。
4. 赤沈は病勢を反映しない。

はき 28-70 潰瘍性大腸炎の特徴で正しいのはどれか。

1. 大腸壁の全層に炎症を起こす。
2. 痔瘻合併の頻度が高い。
3. 直腸から口側へと病変が連続する。
4. 回盲部に好発する。

はき 25-69 痔瘻を合併しやすいのはどれか。

1. 過敏性腸症候群
2. 急性細菌性腸炎
3. 潰瘍性大腸炎
4. クローン病

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う 歯 ————— 悪性貧血
2. アフタ性口内炎 ————— 潰瘍性大腸炎
3. 舌 炎 ————— くる病
4. 口角炎 ————— ビタミン A 欠乏症

はき 20-66 潰瘍性大腸炎の合併症でないのはどれか。

1. 口腔内アフタ
2. ブドウ膜炎
3. 結節性紅斑
4. 痔 瘻

はき 18-75 潰瘍性大腸炎の特徴でないのはどれか。

1. 粘血便
2. 敷石状病変
3. 全周性潰瘍
4. 中毒性巨大結腸

はき 15-72 クロウン病の合併症はどれか。

1. 巨大舌
2. 唾液減少
3. 手掌紅斑
4. 痔 瘻

はき 7-75 下痢の原因疾患でないのはどれか。

1. 過敏性腸症候群
2. 大腸炎
3. 虫垂炎
4. クロウン病

はき 24-70 過敏性腸症候群でよくみられるのはどれか。

1. 発 熱
2. 嘔 吐
3. 下 痢
4. 血 便

はき 4-76 ダンピング症候群を起こす原因はどれか。

1. 胃切除
2. 過敏性腸症候群
3. 食道炎
4. 虫垂炎

はき 3-78 過敏性腸症候群について正しい記述はどれか。

1. 下血をみることが多い。
2. 便秘と下痢とを繰り返すタイプがある。
3. 発熱を繰り返す。
4. ストレスとは無関係である。

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：虫垂炎 P. 35	
------------------------------	--

はき 7-75 下痢の原因疾患でないのはどれか。

1. 過敏性腸症候群
2. 大腸炎
3. 虫垂炎
4. クロウン病

はき 4-76 ダンピング症候群を起こす原因はどれか。

1. 胃切除
2. 過敏性腸症候群
3. 食道炎
4. 虫垂炎

はき 1-72 正しい組合せはどれか。

1. 流行性耳下腺炎 — ムンプスウイルス感染
2. 消化性潰瘍 — 大腸菌感染
3. 虫垂炎 — ビタミンC欠乏
4. イレウス — アレルギー

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：大腸がん P. 36	
-------------------------------	--

はき 30-69 大腸癌について正しいのはどれか。

1. 近年減少傾向である。
2. 便潜血検査は死亡率減少に寄与する。
3. 大部分が扁平上皮癌である。
4. 血清 CEA が早期診断に役立つ。

はき 26-69 ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

1. 食道癌
2. 胃 癌
3. 大腸癌
4. 肝臓癌

はき 20-65 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。

1. 大腸癌 ——— CEA
2. 子宮体癌 ——— SCC
3. 胃 癌 ——— CYFRA
4. 乳 癌 ——— AFP

はき 16-73 鉄欠乏性貧血の原因として適切でないのはどれか。

1. 大腸癌
2. 過多月経
3. 妊 娠
4. 痛 風

はき 11-79 疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝細胞癌 — ウイルス感染
2. 喉頭癌 — 雑菌感染
3. 大腸癌 — 高繊維食摂取
4. 肺 癌 — 飲 酒

はき 8-75 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。

1. 胆石症 — 超音波検査
2. 急性膵炎 — 内視鏡検査
3. 大腸癌 — 便潜血反応
4. 肝 癌 — C T 検査

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：腸閉塞（イレウス） P. 37

はき 24-71 脱水を起こしやすいのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 大腸ポリープ
3. 胃下垂
4. 食道憩室

はき 2-82 腸閉塞症について誤っている組合せはどれか。

1. 閉塞性腸閉塞 — 糞 塊
2. 絞扼性腸閉塞 — 腸捻転
3. 麻痺性腸閉塞 — 下 痢
4. 腸重積 — 血 便

はき 19-66 麻痺性イレウスの症状で誤っているのはどれか。

1. 嘔 吐
2. 腹 痛
3. 下 痢
4. 膨満感

はき 15-68 頸髄損傷について誤っている記述はどれか。

1. 上位頸髄損傷では呼吸障害がある。
2. 下位頸髄損傷では排尿は正常である。
3. 麻痺性イレウスを合併する。
4. 体温調節の障害がある。

はき 1-72 正しい組合せはどれか。

1. 流行性耳下腺炎 — ムンプスウイルス感染
2. 消化性潰瘍 — 大腸菌感染
3. 虫垂炎 — ビタミンC欠乏
4. イレウス — アレルギー

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：その他の腸疾患 P. 38	
----------------------------------	--

【大腸ポリープ/大腸憩室/痔疾】

はき 24-71 脱水を起こしやすいのはどれか。

1. 腸閉塞
2. 大腸ポリープ
3. 胃下垂
4. 食道憩室

はき 24-80 「50歳の男性。大酒家である。軽度の意識障害で受診した。眼球の黄染、胸部のクモ状血管拡張と著明な腹水がみられた。また、上肢の不規則な運動が認められた。」本疾患でよくみられる合併症はどれか。

1. 大動脈瘤
2. 食道静脈瘤
3. マロリー・ワイス症候群
4. 大腸憩室炎

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：急性腹膜炎 P. 38	
--------------------------------	--

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：結核性腹膜炎 P. 39	
---------------------------------	--

臨床医学各論 消化管疾患 キーワード：癌性腹膜炎 P. 39	
--------------------------------	--